

会 議 録

1 会議名	平成21年度 第2回河内自治会議
2 開催日時	平成21年5月19日(火) 午後1時30分～午後3時15分
3 開催場所	河内地域自治センター 2階会議室
4 出席者	<p>【委員】 中村祐司(会長), 山根登(副会長), 伊藤昭博, 大田原加久司, 菊地久美子, 小嶋由美子, 駒田静雄, 櫻井清一, 渋井トミ子, 清水康弘, 五月女勝正, 五月女純, 手塚米子, 中西幸子, 永見幹夫, 西岡隆義, 福田義雄, 松谷悦広, 森本喜美子</p> <p>【事務局】 河内地域自治センター所長, 河内地域自治センター参与, 地域経営課長, ほか3名</p>
5 公開・非公開	公 開
6 傍聴者数	【傍聴者】 なし
7 会議経過	(1) 開 会 (2) 協議事項 ・合併市町村基本計画の執行状況について (3) その他 (4) 閉 会

1 開 会

事務局	<p>ただいまから第2回宇都宮市河内自治会議を開会させていただきます。まず、委員の出欠につきまして、事務局からご報告いたします。本日は、前野委員から欠席の連絡をいただいております。本日の会議の出席者数は19人で、委員数の過半数に達しておりますので、会議が成立することを報告します。</p> <p>それでは、この後の進行を会長にお願いいたします。</p>
会 長	<p>みなさん、こんにちは。先日の地区内視察を設定した事務局、参加された委員の方々お疲れさまでした。私も最終日に参加させていただきました。それでは、協議事項に入りますが、その前に、今後の自治会議のスケジュール(案)について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料1の会議開催スケジュール(案)につきまして、ご説明いたします。</p> <p>(資料1について、事務局説明)</p>

2 協議事項

(1) 合併市町村基本計画の執行状況について

会 長	<p>それでは、合併市町村基本計画の執行状況について、答申をまとめるために皆さんと意見交換をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>まずは、第1回の会議でどのような意見が出たのか振り返ってみたいと思っております。前回の主な意見について事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>はい、お手元の資料2をご覧ください。前回の第1回会議で出た意見をまとめたものでございます。</p> <p>(資料2について事務局説明)</p>
会 長	<p>はい、ありがとうございました。それでは、①から⑫まであります執行状況につきまして、順次、皆さま方から意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。それでは、①番の道路新設改良事業について、ご意見をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>予算の件ですが、平成20年度は1億7千8百万円、今年度は7千5百万円とだいぶ減っていますが、どのようなことで減ったのですか。この道路とこの道路をやるからといって予算をお願いしてあるのか、それとも予算ができたので、その範囲で道路を工事するのかお伺いします。</p>
会 長	<p>20年度と21年度の違いでしょうか。19年度から20年度については、増えていますが、20年度から21年度については、かなり減っていますね。</p>
事務局	<p>予算につきましては、河内地区だけの問題ではなく、市全体が現在の経済情勢が厳しい状況にあり、予算査定が厳しくなりました、以前予定していた事業でも、予算が付きづらい状況になっております。</p>
委 員	<p>事情が厳しいことはわかりますが、この予算を組み立てるのに、この事業をやるためにこの予算が必要なのか、決められた予算の中で事業をやるのか。</p>
会 長	<p>予算の決め方でしょうか。両方だと思っております。</p>
事務局	<p>市の一般的な予算の取り方ですが、こういうことをやりたいと予算要求するのですが、市全体の予算の中で、今年度は、これだけの予算でやってくださいということになっております。当初は、これよりもたくさんの予算を要求しましたが、21年度につきましては、この金額でやってくださいということになったということです。</p>
会 長	<p>当初、積み上げて出すのですが、市全体でみて、このようになったということでしょうか。</p>
委 員	<p>1番の道路新設改良事業についてですが、予算が無くて要望したものすべて工事に入れないのはわかるのですが、事業の優先順位をどのように決めるのですか。今までの2年間の中で見ておりましたが、通学路であり、早めに工事したほうが良いと思うような道路に手がつけられなくて、ここを整備してもしかたがないと思えるような所が整備されています。何処で優先順位が検討されるのかお聞きしたい。</p>
会 長	<p>具体的な中身ということでしょうか。21年度の予算においても、他に優先順位があるのではないかとということですか。</p>

委員	墓地の近くで、あまり車の通らない道で大掛かりな拡張工事をしています。また、通学路で道が狭くて子どもたちが困っていて、車がきたら道路からはみ出してしまい、田んぼに落ちそうになっていました。その時は、合併前でしたが、図面をつけて町に要望したこともありました。すべてが簡単に需要に応じられないという、予算のこともわかります。我々からみると何かおかしいのではないのかなという気がします。
会長	はい、ありがとうございます。ご意見の真意は、来年度に向けて、具体的に我々として指摘していくということでしょうか。
委員	過日、関連事業を視察させていただきましたが、優先順位はどのようなのですか。また、身近な通学路が優先的に取り上げられる、もっと身近な道路の改良、推進ができるのかと考えました。もう少し具体的に事業の推進について、ご説明していただきたいです。
会長	前回、地図で説明していただきましたが、もう少し補足するということでしょうか。
事務局	事業の優先順位は大切なことです。関心の高いことだと思います。委員さん方で、路線を見ていただいた中で、一部の進んでいる路線もあれば、未着工の路線もあります。この路線を優先してほしいとかありましたら、いろいろなご意見、ご提案としていただければと思います。こちらからも担当課に働きかけていきたいと考えております。この中に入っていない道路につきましても、身近な道路で改修が必要な所もございます。直接、合併市町村基本計画の進捗と違うものであっても、河内自治センターの土木課でも道路修繕の予算を持っておりますので、土木課へつなぐこともできます。具体的なことがあれば、ご提案いただきたいと思います。
会長	はい、ありがとうございます。通学路にしても、こことこことか、全域を見渡した上で、案みたいのものを出せればと思います。
委員	釜井台から御幸ヶ原に抜ける所は、旧宇都宮市に入ったとたんに道路が狭くなるという問題で、河内地区単独で動いても壁があります。御幸ヶ原地区への働きかけ、御幸ヶ原地区がどのように考えているかわかりませんので、その辺のところを事務局に探りを入れてほしいと思います。実際に使用しているのは、おそらく河内地区の高校生たちが多いと思われそうですが、御幸ヶ原地区への働きかけを大きくしてもらいたいと思います。
会長	はい、ご意見ということで、ありがとうございます。それでは、②に移らせていただきます。公共下水道整備事業でございますが、これについてご意見をお願いいたします。いかがでしょうか。
委員	4号線の南東側、下水処理場に一番近い地域が、下水道が未整備となっております。下水処理場のある自治会に住んでいるのに、都市下水だけで、農村下水は流し込めない。このような大きな施設があるにも関わらず、隣に新たに下水を作って、農村の集落排水が流し込めないという、不合理なことがあってもいいのだろうかとか常々感じているところです。4号線の北側では集落排水を転々とやっていますが、4号線の南側では、全然進んでいない状況です。何とかしてもらいたいと常々感じております。国土交通省が出すお金と、農林水産省が

	出すお金が違うからと子どもに言われました。このような国の縦割りの行政の中で、横のつながりができればと良いと思っています。
会 長	はい、ありがとうございました。整備の遅れですね。理由はあるにせよ、生活をしている方々にとっては、合点がいかないということですね。ほかに関連でございませうか。
委 員	昨年の市長との懇談会等においては、下水を引き込むということでの考え方としては、本管敷設の流域の住民については、供用範囲にしましょうと、その他については、合併浄化槽でやってくださいということがありました。事業認可区域の地図を見ますと、私の住んでいる所も認可区域に入っているように見えます。農業集落排水は、国の方針で効率が悪いのでやらないと聞いています。下水道の本管を敷設している地域についても、何か恩恵を受けられても良いのではないかと、という考え方もあるのではないのでしょうか。その辺の説明をお願いします。
会 長	いかがでしょうか。
事務局	詳細につきましては、のちほど担当課に確認させていただきますが、下水道の基本的な計画だけを申し上げさせていただきますと思います。現在、河内地区では、公共下水道と集落排水の2本がございませう。ご承知のとおり、公共下水道につきましては、市街化区域、税金で言えば、都市計画税を払っている区域を中心に整備してございませう。一部例外がございませう。もう1つの集落排水につきましては、農村地域の土地改良事業が終わって、道路が整備された後に入れてございませう、この2本立てでございませう。現在、集落排水事業につきましては、河内地区は終了している状況です。詳細につきましては、確認をいたしまして、次回にご報告させていただきますと思います。
会 長	ありがとうございました。ほかにも、いかがでしょうか。
委 員	集落排水と都市下水とはどのように違うのか知りたいのですが。出どころが違っていて、最後は同じところに行くのですか。
委 員	同じところには行きませう。別の施設に行きませう。
委 員	私たちが使っている下水は、先日視察した施設に流れて、集落排水は何処に行くのですか。
委 員	自分たちの集落で処理場を作って処理します。
委 員	処理場の備品等が古くなった場合は、自分たちで修理しなければならないのですか。初めは、国の方で予算が出たにしても、後は、自分たちで維持管理するのですか。ありがとうございました。
会 長	はい、ありがとうございます。それでは、③の地域自治拠点整備事業について、ご意見をいただきたいと思ひます。いかがでしょうか。
委 員	(特に意見なし)

会 長	答申書の内容に沿って進んでいるということによろしいでしょうか。では、次に④と⑤と⑥をまとめた形の小中学校整備事業ですが、前回の会議で重要なお質問がありまして、トイレの整備等、耐震補強と併せて整備していくと回答があったと記憶しておりますが、いかがでしょうか。
委 員	今後10年先までの河内地区の小中学校の人口動態によって、学生が増えるのか減るのか、それによって優先順位が出てくるのではないのでしょうか。道路の脇の農地が宅地に簡単に変わってきています。そういう中で、河内地区が宇都宮のベッドタウンということであれば、小中学校の区域の中で、子どもたちが、どう増えるのか減るのかに合わせた投資をしていかないと、効率がおかしくなるのではないのでしょうか。耐震補強について見てまいりましたが、実際に使用している教室がいくつあるのかと、そういうことを考えていけば、あまった教室を何に利用していこうかということも、いろいろ考えていかなければなりません。河内地区のどの地域の、どの学校区に、どれくらいの子どもたちがいて、今後、増えそうなのか、減りそうなのか、数字を示してもらい、その中で住んでいる住民がいろいろと提案していけばよいのではないのでしょうか。そのようなデータを是非知りたいと思います。トイレにしても、生徒数の増減によって、改修の仕方も変わってくるのではないのでしょうか。住んでいる人が、どのように取り組んでいくかが、ポイントになってくるのではないのでしょうか。1番の道路の改修についても、どの道路の改修が必要なかが出てくるのではないのでしょうか。そのようなことを答申に盛り込んでいけば良いと思います。住宅部分と商業部分と農地部分が、どのように分けられて発展していけばいいのかのガイダンスが見えて、やるべきことが見えてくるのではないのでしょうか。
会 長	はい、いろいろなお指摘、ありがとうございました。大きくランドデザインで見ていかなければならないと思います。
委 員	前回第7回の会議で、④⑤⑥に関連して国際理解教育の充実という視点から、提案書をみんなで作成したのですが、特にハード面でなくソフト面で、小学校における英語活動を含めて、ALTの増員ということを提案書にうたいました。本年度から、小学校5・6年生に英語活動の時間が入ります。河内地区の小・中学校でALTの授業が少なかったのですが、今年は、小学校5・6年生に対して、1年間で20時間のALTの授業ができるようになりました。
会 長	はい、ありがとうございました。年度の後半で行うまちづくりに関する施策の提案についての関連したことです。他にございますでしょうか。それでは、⑦の中央公民館改修整備事業に移りたいと思います。いかがでしょうか。
委 員	地区市民センターにある生涯学習センターと、河内地区にある生涯学習センターとでは雲泥の差があります。地区市民センターにある生涯学習センターの事業数は、河内地区にある生涯学習センターの半分です。他の地区市民センターと同じく併設してよいのか、もう一度考えなおしてほしいです。
会 長	はい、ありがとうございました。
委 員	併設としての方向付けには賛成です。有機的・機能的に使うことが土地の有効活用になるということと、何処に併設するかによって、規模が大きく変わっ

	てくると思います。併設した後、地域の歴史的展示場もできるし、駐車場も一元管理できるメリットを感じます。学習センター前にあるグラウンドもいろいろな催しのときは、駐車場として利用されているので見直しが必要です。併設のメリットも多いが、いろいろな問題もクリアしなければなりません。自治センターについては、現在検討中であり、いろいろなヒアリングを行っています。併せて学習センターについても、考え方を整理中としかまだ見えていませんので、どちらに併設するのか具体的に進めないと、答申だけでは、絵に描いたもちになってしまう危険性があるのではないかと思います。
会 長	はい、ありがとうございました。併設をめぐるもう少し踏み込んだ答申を、盛り込んでいきたいと思います。他にいかがでしょうか。
委 員	自治センターと生涯学習センターの併設ということは良いことだと思います。河内町が宇都宮市と合併して、行政の効率化を図り、我々の税金を有効活用するために合併したのですから、スリムな行政が地域には必要です。自治センターで行う業務を縮小させれば、生涯学習センターの方へ自治センターの機能を移しても、十分にやっていけるのではないのでしょうか。活動の拠点が、白沢地区から岡本地区へ変わってきていて、人口動向も岡本地区へ移ってきているので、そちらに近いほうがいろいろな面で活用しやすいのではないのでしょうか。生涯学習センターにおいて、現役世代が勉強する場が少ないです。老人に対する学習が多くて、現役世代と一緒に勉強していかないと、地域の人材が育ちません。我々リタイアした世代が若者と一緒になって、河内地区をいい所にしていこうとしていかなければならないと思います。
会 長	はい、ありがとうございました。はい、どうぞ。
委 員	地域住民の意見を反映した施設整備となっていますが、地域住民の意見が一番重要だと思います。ドリームプールや総合福祉センターを建設したときに、利用者の立場からの意見が大切ということがあったにも関わらず、利用者の意見が入っていなかったと聞いたことがありました。利用者の意見が大切なので、検討委員会等に住民や利用者を入れるなどして、進めるようにしてほしいと思いますので、よろしくをお願いします。
会 長	はい、ありがとうございました。
委 員	スリム化するのには良いが、今までは、ここで済ませられるものが本庁でとなると抵抗があります。農業関係は、産業課で済みますが、本庁まで行かなくても済むような体制だけは残してほしいです。
会 長	はい、ありがとうございました。合併したというものの、できるだけ河内地域自治センターで済むようにしたいということですね。
事務局	今、地域自治センターと生涯学習センターについて、いろいろなご意見がございましたが、地域自治センターの今後につきましては、こちらで行ったほうが良いものは残すことになりまして、日常的に取扱い件数の多いものや、住民の皆さまに密着したサービスは地域で行います。件数の少ないものや効率性を考えれば、本庁に持っていったほうがよいものは本庁へ持っていく、というように整理がされております。施設整備につきましても、地域住民の方の意見を聞きまして、やっていくということが、今の宇都宮市の考えでございます。

	<p>余談になりますが、私が横川地区市民センター所長のときに、ちょうど横川地区市民センターが新しくなるときで、地域住民の皆さまのいろいろな意見を取り入れて、センターを作ったという実績もございますので、当然、河内でも同じような形になっていくと思っております。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>岡本地区が発展地域だからといって、施設や事業を大きく展開していくことには賛成できません。河内地区全体が発展していくということがあって、意見が述べられなければならないと思います。</p>
委 員	<p>そういう意味で言ったものではありません。誤解しないでください。これからの自治がだんだん道州制となった場合、限られた収入の中で、どういう使い方をしていくかを検討しましょうということです。同じ税金でも使い方の順番を決めて、やっていくべきでしょうかということで発言しました。限られた税金の中で、どう有効に使うかを真剣に提案していく会議だと思っています。</p>
会 長	<p>はい、ありがとうございました。河内地区の中でいろいろなエリアがあり、身近な視点で言うこともあり、同時に河内の全体を見据えて言うこともあります。河内地区が宇都宮市の一地区であるということです。宇都宮市全体を見据えた議論ということも大切になるということです。それをやりがいと捉えてやっていきたいと思っております。それでは、⑧総合運動公園整備事業について、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>総合運動公園という位置づけで見ると、まだまだ施設が足りないとか、テニスコートがないとか、議論されてきました。いまさら増設は難しいと思っておりますが、更に設備が足りないということで、雨天運動場がありません。生涯学習センターの後ろの体育館は、トレーニングルームがあり、非常に好評ですが、施設が小さいので順番待ちの状況です。いまさら、増設と言っても難しいでしょうが、22年度で総合運動公園がオープンになりますが、継続的に総合運動公園として、拡大していく長期計画が必要ではないかと思っております。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。まさに答申の最後のところの積極的な事業実施ということの中身ということですね。他にいかがでしょうか。それでは、⑨の岡本駅西土地区画整理事業ですが、お気づきの点がございましたら、ご意見をお願いします。いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>岡本駅を利用し、駅周辺を自転車で走り、それで感じるのですが、あの道が何処へ続くのか、何年後には、このように完成しますという完成図をどこかに大きく表示していただきたいです。町の中にも何箇所かあるようですが、あの近辺を利用する人には目にしない場所にあります。もう少しわかりやすい場所に完成図を、はっきりと提示していただくと市民の皆さんも少し協力的になるのかと思っております。完成図といつ完成するのか、はっきりと表示してほしいです。</p>
会 長	<p>はい、ありがとうございました。周知の件ですね。他に、いかがでしょうか。次に⑩の岡本駅前周辺整備事業についてですが、ご意見いかがでしょうか。現段階では、明確な方向性が全体的に見えてこないのですが。</p>
委 員	<p>(特に意見なし)</p>

会 長	それでは、⑩の農村公園等整備事業について、ご意見をいただきたいと思います。
委 員	現在の公園は、中途半端です。地元の人たちの意見を取り入れた事業なのですか。昆虫採集ができるとか、野鳥が見られるとか、人が集まるような施設にしてほしいと思います。
会 長	ありがとうございます。魅力ある施設としていくための具体的な策をみんなで作り上げていくという、踏み込んだ意見が言えればと思います。
委 員	農村自体が公園のようなものなのです。事業に反対するわけではないのですが、農村の自然を生かした公園づくりを目指したほうが、よいのではないのでしょうか。
委 員	どうしてここに農村公園ができるのか疑問です。農村公園とは何なのですか。そこで何を、何が目的で、何を楽しむ所なのか、そこを教えてください。
事務局	下田原南部の土地改良の中に、農村公園が計画されています。都市部には、都市公園が作られていますが、農村部でも、都市部と同じように遊ぶために、農村公園を作りましょうという発想です。農村公園を作るために、農家の方が少しずつ土地を差し出しています。
会 長	はい、ありがとうございました。⑪の農道整備事業について、いかがでしょうか。
委 員	農道と一般道との違いを教えてください。
事務局	ここで農道と言われているのは、土地改良をした後の道路でございます。田んぼは四角くなりますし、水路も道路もまっすぐになります。土地改良では道路の形状までは作りますが、舗装までは他の事業で行います。その舗装を農道整備事業ということで、砂利道を舗装していくのがこの整備事業でございます。土地改良区内における、道路の整備と解釈していただければ結構でございます。
会 長	他にいかがでしょうか。各事業名におけるご意見ありがとうございました。また、意見を言い切れなかったとか、意見を言いそびれてしまったとか、お帰りになってから意見がある場合等には、資料の最後にあります「合併市町村基本計画の執行状況について」の意見票にご記入のうえ、事務局宛にお出しくださいようお願いいたします。

4 その他

会 長	それでは、その他になりますが、委員の皆さんから連絡事項などはありますか。
委 員	(発言なし)
会 長	それでは、事務局から連絡事項はありますか。

事務局	<p>それでは、事務局から、ご連絡いたします。先日、本日の会議の出欠と一緒に、部会の参加希望につきまして、お問合せさせていただきました結果、皆さま方からご返事がありましたのでご報告させていただきます。お手元の資料3をご覧ください。専門部会別委員名簿ということで、生活環境検討部会が7名、スポーツ・教育・文化検討部会が6名、自然・農業検討部会が5名というご希望がありました。また、その他にまちづくり検討部会ということで、会長を除く委員全員が参加するというので、お願いいたします。今までも、様々な研修会とか、それぞれの部会の内容の報告会とか、会議以外のところで皆さまにお集まりいただき、勉強や情報交換等をさせていただきました。それぞれの部会において、自主的に進めていくために、部会長、副部会長を選んでいただきたいと思いますと考えております。部会につきましては、この会議終了後に、各部会ごとにお集まりいただき、部会長、副部会長をお決めいただきたいと思います。その後、再度、全員でお集まりいただき、まちづくり検討部会の部会長、副部会長をお決めいただきたいと思いますので、会議終了後、少々お時間をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>他にございますでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、次に次回の日程についてご案内いたします。次回第3回の会議は、6月19日金曜日午後2時から、こちら同じ場所で開催したいと思いますのでよろしくお願いいたします。ご通知については、あらためて、皆さまのところにお送りいたしますので、そのときに出欠の確認をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>はい、どうぞ。</p>
委 員	<p>専門部会の持ち方について、お聞きいたします。昨年は、専門部会3部会で、少ないところで6回、多いところで8回開催いたしました。事務局では、何回くらいの回数を考えているのですか。</p>
事務局	<p>それぞれの部会長さんを中心に進めていただければ、こちらでは関与しませんので、独自にやっていただければ結構です。</p>
委 員	<p>少なくとも、多くてもいいということですか。</p>
事務局	<p>はい、そうです。その中で、まちづくりの提案というものに向けて、部会の中でまとめていただければ大丈夫です。</p>
委 員	<p>昨年度の反省の中でも出ていたのですが、いろいろな役職を持っていて、忙しくて会議に出られないという感想を漏らした方が何名かいらっしゃいました。数えてみますと、専門部会で、少ないところで6回、多いところで8回、全体でのまちづくり検討部会4回、自治会議8回、合わせて18回から20回の会議になります。中には、忙しくて、部会には出られない方もいらっしゃいましたが、その他の方でも、半分しか出られない方もいらっしゃいました。忙しくて都合がつかない方が多いので、専門部会の回数をもう少し減らしていただきたいと思います。自治会議は、10年間継続してやる会議ですよ。2・3年で一つの結論を出して、まとめましょうということでなくて、2年間でまちづくりの提案を、各部会で2・3まとめるということですし、その他に答申ですよ。私自身、専門</p>

	部会を8回もやる必要はないと思うので、皆さん方のご意見をお聞きしたいのですが。
会 長	はい、ご意見としてですが、全ての部会の回数を少なくしたほうが良いということですか。
委 員	はい、そうです。
会 長	ご自身の所属のところだけでなくてですか。
委 員	他の部会の事は言えませんが、私の部会の反省として、全員が出られる機会が少なかったことと、他の委員の反省を基に、本年度はそれほど多くの部会を持たなくても良いと思います。できれば、3・4回くらいで納めてくれれば良いと思うのですが。
会 長	意見として、分かりました。ありがとうございます。私自身の印象としては、この部会の場が重要と思っています。部会があったからこそ積極的な答申ができたと思っています。
委 員	専門部会の必要性はよく分かります。20人で話しても、なかなか議論が整わないのです。だから、専門部会をやりましょうということになったわけです。その必要性はよく分かりますが、なかなか専門部会に出られないという反省を含めて、回数を減らしていただきたいと思います。
会 長	はい、どうぞ。
委 員	部会では、気軽に意見を出し合える場と思っています。部会ごとに決めていけばよいのではないのでしょうか。
会 長	はい、それでは、部会ごとに決めていただければと思います。
委 員	昨年の反省の中で何人かの委員から出ていましたが、自治会議とまちづくり協議会との提携が取れたほうがよいのではないのでしょうか。まちづくり協議会は、まちづくりの実行部隊になると思いますので、代表者だけでも、年に1・2回は、連絡会議を持ってはいかがでしょうか。
会 長	趣旨としては分かりますが、仕組みの問題で難しいと思うのですが、いかがでしょうか。
事務局	まちづくり協議会もまだできたばかりですし、協議会もこれから独り立ちしていくという段階でございます。自治会議とまちづくり協議会との連携は大切だと思っております。今すぐできるかどうか分かりませんが、課題とさせていただきます、検討させていただきたいと思います。
会 長	はい、どうぞ。
事務局	参考に、おたずねいたしますが、自治会議とまちづくり協議会の話し合いとは、どういう趣旨でやるのでしょうか。意見交換みたいな会議ということでしょうか。
委 員	自治会議は、まちづくりの施策の提案をするということが1つの任務となっています。まちづくり協議会と、方向性がある程度同じ方向を向いていかないと、うまくないのではないですか。まちづくり協議会には出ていないため、内容は分

	<p>かりませんが、何をやろうとしているのか、我々も知る必要があるのではないのでしょうか。そういう意味での連絡会があればいいと思います。</p>
会 長	<p>まちづくり協議会がどういうことをやっているのか、どういう経緯で述べたのか、その情報を会を持たなくても得られるものなのか、検討していくということでいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>市長から言われたことについて判断していくのが自治会議です。地区におけるまちづくり協議会の活動というのは、市長に対して要望できる団体であり、地域の住民が夢を持って、河内地区が河内地区らしくできるようにしていくものです。この中にも、まちづくり協議会の役員になっていただいている方が、何人もいらっしゃいますので、連絡会が必要だということについては、あまり心配しなくても良いのではないのでしょうか。</p>
会 長	<p>共通のメンバーがいらっしゃるのですね。そうであれば、情報も得られるので、ありがたいことだと思います。ありがとうございました。非常に活発なご意見をありがとうございました。また、意見票にも書いていただければ、ありがたいと思います。本日は、どうもお疲れ様でした。</p>